

## 「新型コロナウイルスのワクチン接種状況に関するアンケート調査」結果

運営サポーター運営委員会  
委員長 宮崎 則男

## 1. 方法

調査対象：221名（9月28日時点のサポーター登録者数152名、代議員69名）  
 調査方法：Google フォーム  
 調査期間：2021年9月28日～10月12日 18:00  
 有効回答：148件（有効回答率67.0%）

## 2. 主な分析結果

新型コロナウイルスのワクチン接種について、職場や職種の違いによる状況を把握するため、主に回答者の勤務先の種別に焦点をあてクロス集計を作成し分析した。

## (1) 回答者の年齢

回答者の年齢は、40歳代が67名（45.3%）と最も多く、次いで50歳代が42名（28.4%）が多かった。

	件数	(%)
20～29歳	2	(1.4)
30～39歳	16	(10.8)
40～49歳	67	(45.3)
50～59歳	42	(28.4)
60歳以上	21	(14.2)
計	148	(100.0)

(2) 年齢と勤務先種別<sup>注1</sup>

回答者の勤務先を「病院」「施設系」「在宅系」「その他」に分類した。「病院」が最も少なく10名（6.8%）であり、「施設系」52名（35.1%）、在宅系52名（35.1%）だった。

年齢別にみると、「30～39歳」では「在宅系」が4名（25.0%）、「60歳以上」では「施設系」が3名（14.3%）となっており、回答者の勤務先は年齢によって偏りがみられた。

注1：一般病院、医療療養病院を「病院」、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院・介護療養型医療施設、養護老人ホーム・軽費老人ホーム・ケアハウス、障害児入所施設、保護施設（救護施設など）、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅、障害者支援施設を「施設系」、通所介護、訪問介護・訪問入浴介護、居宅介護支援事業所、地域密着型サービス（小規模多機能型居宅介護・グループホームなど）、訪問サービス事業所（居宅介護など）、（単独）短期入所、委託型地域包括支援センターを「在宅系」、それ以外を「その他」とした（以下、同様）。

表2 年齢と勤務先

	病院	施設系	在宅系	その他	計
20～29歳	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	2 (100.0)	2 (100.0)
30～39歳	0 ( 0.0)	<b>8</b> <b>( 50.0)</b>	4 (25.0)	4 (25.0)	16 (100.0)
40～49歳	8 (11.9)	<b>24</b> <b>( 35.8)</b>	<b>26</b> <b>( 38.8)</b>	9 (13.4)	67 (100.0)
50～59歳	2 ( 4.8)	<b>17</b> <b>( 40.5)</b>	<b>14</b> <b>( 33.3)</b>	9 (21.4)	42 (100.0)
60歳以上	0 ( 0.0)	3 (14.3)	<b>8</b> <b>( 38.1)</b>	10 (47.6)	21 (100.0)
計	10 ( 6.8)	52 (35.1)	52 (35.1)	34 (23.0)	148 (100.0)

(3) 勤務先種別と運営主体<sup>注2</sup>

「施設系」は「社会福祉法人」に、「在宅系」は「会社」に偏っていた。通所介護サービスや訪問介護サービス等の「在宅系」には、単独サービス事業所が含まれていると推察できる。

注2：医療法人、社会医療法人を「医療法人等」、株式会社、合同会社、有限会社を「会社」、社団法人・財団法人、公益社団法人、一般社団法人、NPO法人、自治体を「その他」とした。

表3 勤務先と運営主体

	医療法人等	社会福祉法人	会社	学校法人	その他	計
病院	<b>8</b> <b>( 80.0)</b>	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	2 (20.0)	10 (100.0)
施設系	6 (11.5)	<b>32</b> <b>( 61.5)</b>	10 (19.2)	0 ( 0.0)	4 ( 7.7)	52 (100.0)
在宅系	7 (13.5)	9 (17.3)	<b>33</b> <b>( 63.5)</b>	0 ( 0.0)	3 ( 5.8)	52 (100.0)
その他	0 ( 0.0)	6 (17.6)	5 (14.7)	<b>13</b> <b>( 38.2)</b>	10 (29.4)	34 (100.0)
計	21 (14.2)	47 (31.8)	48 (32.4)	13 ( 8.8)	19 (12.8)	148 (100.0)

## (4) 勤務先種別とワクチン接種状況

「接種していない」と回答した割合は「在宅系」が最も多く、7名(13.5%)だった。在宅系介護サービスのワクチン未接種者の割合は相対的に高いものの、回答者の概ね9割がワクチン接種を済ませていた。

表4 勤務先種別とワクチン接種状況

	接種した (%)		接種していない (%)		計 (%)	
病院	10	(100.0)	0	( 0.0)	10	(100.0)
施設系	51	(98.1)	1	( 1.9)	52	(100.0)
<b>在宅系</b>	45	(86.5)	<b>7</b>	<b>(13.5)</b>	52	(100.0)
その他	30	(88.2)	4	(11.8)	34	(100.0)
計	136	(91.9)	12	( 8.1)	148	(100.0)

(5) 勤務先の運営主体<sup>注2</sup>とワクチン接種状況

「接種していない」と回答した割合は「会社」が10.4%と相対的に高いものの、概ね9割がワクチン接種を済ませていた。

表5 勤務先の運営主体とワクチン接種状況

	接種した (%)		接種していない (%)		計 (%)	
医療法人等	21	(100.0)	0	( 0.0)	21	(100.0)
社会福祉法人	45	(95.7)	2	( 4.3)	47	(100.0)
<b>会社</b>	43	(89.6)	<b>5</b>	<b>(10.4)</b>	48	(100.0)
学校法人	12	(92.3)	1	( 7.7)	13	(100.0)
その他	15	(78.9)	4	(21.1)	19	(100.0)
計	136	(91.9)	12	( 8.1)	148	(100.0)

## (6) 勤務先種別と1回目ワクチン接種の時期

勤務先種別ごとに1回目ワクチン接種の時期をみると、「病院」は4月で60.0%、「施設系」は5月で30.6%、6月で42.9%だったが、「在宅系」は7月で36.4%となっており、他の種別と比べ、ワクチン接種が遅かった。

表6 勤務先種別と1回目ワクチン接種の時期

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
<b>病院</b>	0	<b>6</b>	2	0	2	0	0	10
	( 0.0)	<b>(60.0)</b>	(20.0)	( 0.0)	(20.0)	( 0.0)	( 0.0)	(100.0)
<b>施設系</b>	0	4	<b>15</b>	<b>21</b>	7	2	0	49
	( 0.0)	( 8.2)	<b>(30.6)</b>	<b>(42.9)</b>	(14.3)	( 4.1)	( 0.0)	(100.0)
<b>在宅系</b>	1	2	8	7	<b>16</b>	7	3	44
	( 2.3)	( 4.5)	(18.2)	(15.9)	<b>(36.4)</b>	(15.9)	( 6.8)	(100.0)
その他	0	1	3	5	14	4	3	30
	( 0.0)	( 3.3)	(10.0)	(16.7)	(46.7)	(13.3)	(10.0)	(100.0)
計	1	13	28	33	39	13	6	133
	( 0.8)	( 9.8)	(21.1)	(24.8)	(29.3)	( 9.8)	( 4.5)	(100.0)

## (7) 運営主体の種別と1回目ワクチン接種の時期

運営主体ごとに1回目ワクチン接種の時期をみると、「医療法人等」は4月で38.1%、5月で42.9%「社会福祉法人」は6月で37.2%、「会社」は7月で37.2%、「学校法人」は7月で58.3%となっており、「会社」および「学校法人」は他と比べ、ワクチン接種が遅かった。

表7 運営主体の種別と1回目ワクチン接種の時期

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
<b>医療法人等</b>	1 ( 4.8)	<b>8</b> <b>( 38.1)</b>	<b>9</b> <b>( 42.9)</b>	2 ( 9.5)	1 ( 4.8)	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	21 (100.0)
<b>社会福祉法人</b>	0 ( 0.0)	4 ( 9.3)	11 (25.6)	<b>16</b> <b>( 37.2)</b>	11 (25.6)	1 ( 2.3)	0 ( 0.0)	43 (100.0)
<b>会社</b>	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	6 (14.0)	11 (25.6)	<b>16</b> <b>( 37.2)</b>	7 (16.3)	3 ( 7.0)	43 (100.0)
<b>学校法人</b>	0 ( 0.0)	0 ( 0.0)	1 ( 8.3)	2 (16.7)	<b>7</b> <b>( 58.3)</b>	0 ( 0.0)	2 (16.7)	12 (100.0)
その他	0 ( 0.0)	1 ( 7.1)	1 ( 7.1)	2 (14.3)	4 (28.6)	5 (35.7)	1 ( 7.1)	14 (100.0)
計	1 ( 0.8)	13 ( 9.8)	28 (21.1)	33 (24.8)	39 (29.3)	13 ( 9.8)	6 ( 4.5)	133 (100.0)

## (8) 自治体から介護従事者への優先接種の働きかけ

自治体から介護従事者に対する優先接種の働きかけの有無については、「施設サービス介護従事者に対し、優先接種の働きかけがあった」は89名(60.5%)と最も多かった。次いで「在宅系サービスの介護従事者に対し、優先順位の働きかけがあった」が52名(35.1%)、「居宅系サービス介護従事者に対し、優先接種の働きかけがあった」が34名(23.1%)だった(複数回答)。

表8 自治体から介護従事者への優先接種の働きかけ(複数回答)

	件数	(%)
<b>施設サービス介護従事者に対し、優先接種の働きかけがあった</b>	<b>89</b>	<b>( 60.5)</b>
居宅系サービス介護従事者に対し、優先接種の働きかけがあった	34	( 23.1)
在宅系サービス介護従事者に対し、優先接種の働きかけがあった	52	( 35.1)

## (9) 介護サービス種別による優先順位の差

職場や地域での、介護従事者のワクチン接種の優先順位の違いについては、「施設サービス介護従事者が優先された」が71名(48.0%)と最も多かった。次いで「優先順位に差はなかった」が39名(26.4%)だった。

表9 介護サービス種別によるワクチン接種の優先順位の差

	件数	(%)
<b>施設サービス介護従事者が優先された</b>	<b>71</b>	<b>( 48.0)</b>
居住系サービス介護従事者が優先された	3	( 2.0)
在宅系サービス介護従事者が優先された	4	( 2.7)
優先順位に差はなかった	39	( 26.4)
知らない	27	( 18.2)
その他	4	( 2.7)
計	148	(100.0)

## (10) 職種による優先順位の差

職場や地域での職種によるワクチン接種の優先順位の違いについては「医療職が優先された」が93名(62.8%)と最も多く、次いで「優先順位に差はなかった」が34名(23.0%)だった。

表10 職種によるワクチン接種の優先順位の差

	件数	(%)
<b>医療職が優先された</b>	<b>93</b>	<b>( 62.8)</b>
介護従事者が優先された	5	( 3.4)
優先順位に差はなかった	34	( 23.0)
知らない	12	( 8.1)
その他	4	( 2.7)
計	148	(100.0)

## (11) 日本介護福祉士会の要望書や声明文について

日本介護福祉士会が厚生労働大臣宛にワクチン接種についての要望書や、声明文を発出していることについて、「知っている」が120名(81.1%)、「知らない」が28名(18.9%)だった。

表11 日本介護福祉士会の要望書や声明文について

	件数	(%)
<b>知っている</b>	<b>120</b>	<b>( 81.1)</b>
知らない	28	( 18.9)
計	148	(100.0)

## 3. 自由記述回答の結果

得られた自由記述回答について、特に利用者や家族への影響や、サービス提供や運営への支障等の記載に焦点をあて、回答を選定・分類した。

## (1) 分野、サービス種別、職種による優先順位の違いによる影響

- ・ 高齢者分野と比較して障害分野で働く介護職へのワクチン接種の案内が遅かったように思います。重度障害のご本人や医療的ケアを必要とする本人および本人ご家族は、本人がコロナに罹患すれば死んでしまうというリスクを強く感じて福祉サービスの利用を自粛されるケースが多く出ました。
- ・ 在宅における介護職については、施設よりも多種多様な方のお宅に訪問されるので、かえって優先すべきだと考える。しかしながら、施設の方針によって全員接種・種別ごとに時期が分かれる等がみられた。その点について、何が要因だったのか、基準を知りたいと思う。
- ・ なぜ訪問介護職の接種が遅かったのか不思議で、なりません。我々は街にも出るし、県外からご家族が帰省され、接種していない状態でサービスするのはとても不安でした。我々こそ早めに接種すべき職種だったのではと思います。
- ・ 介護従事者です。日頃から感染対策はしていますが、自分たちが持ち込むリスクを常に感じています。ワクチン接種の優先順位を見直し、リスクをより下げられたらと考えます。

## (2) コロナ感染拡大によるサービス利用者・家族への影響

- ・ 福祉サービスの利用を絶てば家族介護を行うしかなく、数か月以上も家に引きこもり、家族介護を継続したご家庭が所属する法人の中でも複数ありました。
- ・ 今回、在宅利用者や単身世帯の高齢者の接種の順番が中々来ず、予定が立てられないご家族もいました。(予定がわからないと別居の家族がフォローし難い)
- ・ 施設系が優先されるのは仕方ないと思う。しかし、感染対策は箱内を重点的にできるメリットもある。在宅系はそうはいかない。高齢者が接種済なのに従事者が遅くなったため、サービスを持続するために制限を作り、緩められず、長く続いた。結果、利用される高齢者に負荷をかけることになった。
- ・ ワクチン接種や従事者の予防の重要性の根拠として、医療も介護も普段からの信頼性や本人に合わせたケア、介護をしていればしているほど代替性が低下するといった問題を主張すべきだと思います。特に介護の現場ではラポールのない状況では介入さえできない可能性もあることを現場を知らない方々によく理解していただきたいです。

## (3) ワクチン接種による職員体制への影響

- ・ 集団接種により、翌日休みのスタッフのフォローで打ちたくても打てない辛さを体験しました。また副反応で数日欠勤したり、出勤しても仕事をしないただ居るだけの人もいました。介護従事者でもアナフィラキシーショック経験者やマスクによる体調不良を訴える人もいます。「ワクチン接種すれば大丈夫」といった風潮が社会全体少なくなることも願います。
- ・ 副反応を懸念し、当法人では翌日は全職員休みといたしました。もともと少ない人員の中、急遽休まなければいけない状況もあり、人員不足が顕著です。
- ・ ワクチン接種による熱発で職員が急遽休みになったり、接種後の腕が上がらなくなり身体介護等サービス提供に支障をきたしたが、職員同士の協力体制により事なきを得た。(職員のワクチン接種予定日が近かったため、かなり緊張感のいる勤務体制であった)
- ・ 副反応に備えたワクチン接種休暇の取得についてどのような形で行われたかお聞きしたい。
- ・ 施設が所在している市からではなく、接種してもらおう登録医のクリニックが所在している市からワクチンをもらわないといけなかったため、段取りや運搬がとても大変だった。
- ・ 副反応のため、接種翌日休んだり体調不良の職員が出て！人員確保が大変だった。

## (4) 実習関係

- ・ 介護実習にあたって、ワクチン接種済みであることが受け入れ要件になっている事業所もあり(利用者の命を守るため仕方がないことかもしれないが)学習の機会が喪失してしまうことが残念。また、在宅介護分野においても職員は先行接種対象であると思われる。